

大齋節 第五 主日

特禱

全能の神よ、み子イエス・キリストは大祭司として来られ、その血をもって至聖所に入り、ただひとたび永遠の贖いを全うされました。どうかご自身を神に献げたキリストの血によって、わたしたちの良心を死に至る行いから清め、あなたに仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

《旧約聖書》

エゼキエル書

第37章 1節から3節

(4節から10節) 11節から14節

1 主の手がわたしの上に臨んだ。わたしは主の霊によって連れ出され、ある谷の真ん中に降ろされた。そこは骨でいっぱいであった。2 主はわたしに、その周囲を行き巡らせた。見ると、谷の上には非常に多くの骨があり、また見ると、それらは

甚だしく枯れていた。3 そのとき、主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるか。」わたしは答えた。「主なる神よ、あなたのみがご存じです。」

4 そこで、主はわたしに言われた。「これらの骨に向かって預言し、彼らに言いなさい。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。5 これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。6 わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知ようになる。」7 わたしは命じられたように預言した。わたしが預言していると、音が出た。見よ、カタカタと音を立てて、骨と骨とが近づいた。8 わたしが見ていると、見よ、それらの骨の上に筋と肉が生じ、皮膚がその上をすっかり覆った。しかし、その中に霊はなかった。9 主はわたしに言われた。「霊に預言せよ。人の子よ、預言して霊に言いなさい。主なる神はこう

言われる。霊よ、四方から吹き来たれ。霊よ、これらの殺されたものの上に吹きつけよ。そうすれば彼らは生き返る。」10 わたしは命じられたように預言した。すると、霊が彼らの中に入り、彼らは生き返って自分の足で立った。彼らは非常に大きな集団となった。

11 主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。彼らは言っている。

『我々の骨は枯れた。我々の望みはうせ、我々は滅びる』と。12 それゆえ、預言して彼らに語りな

さい。主なる神はこう言われる。わたしはお前たちの墓を開く。わが民よ、わたしはお前たちを墓

から引き上げ、イスラエルの地へ連れて行く。13 わたしが墓を開いて、お前たちを墓から引き上げ

るとき、わが民よ、お前たちはわたしの主であることを知るようになる。14 また、わたしがお前

ちの中に霊を吹き込むと、お前たちは生きる。わたしがお前たちを自分の土地に住ませる。その

とき、お前たちは主であるわたしがこれを語り、行ったことを知るようになる」と主は言われる。

《使徒書》

ローマの信徒への手紙

第6章 16節から23節

16 知らないのですか。あなたがたは、だれかに奴隷として従えば、その従っている人の奴隷となる。つまり、あなたがたは罪に仕える奴隷とな

って死に至るか、神に従順に仕える奴隷となつて義に至るか、どちらかなのです。17 しかし、

神に感謝します。あなたがたは、かつては罪の奴隷でしたが、今は伝えられた教えの規範を受け

入れ、それに心から従うようになり、18 罪から解放され、義に仕えるようになりました。19

あなたがたの肉の弱さを考慮して、分かりやすく説明しているのです。かつて自分の五体を汚れと

不法の奴隷として、不法の中に生きていたように、今これを義の奴隷として献げて、聖なる生活

を送りなさい。20 あなたがたは、罪の奴隷であつたときは、義に対しては自由の身でした。21

では、そのころ、どんな実りがありましたか。あなた

これらの行き着くところは、死にほかならない。

22 あなたがたは、今は罪から解放されて神の

奴隷となり、聖なる生活の実を結んでいます。行

き着くところは、永遠の命です。23 罪が支払う

報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたした

ちの主キリスト・イエスによる永遠の命なので

す。

《福音書》

ヨハネによる福音書

第11章（1節から16節） 17節から44節

1 ある病人がいた。マリアとその姉妹マルタの

村、ベタニアの出身で、ラザロといった。2 こ

のマリアは主に香油を塗り、髪の毛で主の足をぬ

ぐった女である。その兄弟ラザロが病気であつ

た。3 姉妹たちはイエスのもとに人をやって、「主

よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」

と言わせた。4 イエスは、それを聞いて言われた。

「この病気は死で終わるものではない。神の栄光

のためである。神の子がそれによって栄光を受け

るのである。」5 イエスは、マルタとその姉妹と

ラザロを愛しておられた。6 ラザロが病気だと聞

いてからも、なお二日間同じ場所に滞在された。

7 それから、弟子たちに言われた。「もう一度、

ユダヤに行こう。」8 弟子たちは言った。「ラビ、

ユダヤ人たちがついこの間もあなたに石で打ち

殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」

9 イエスはお答えになった。「昼間は十二時間あ

るではないか。昼のうちに歩けば、つまずくこと

はない。この世の光を見ているからだ。10 しか

し、夜歩けば、つまずく。その人の内に光がない

からである。」11 こうお話になり、また、その後

で言われた。「わたしたちの友ラザロが眠っている。

しかし、わたしは彼を起こしに行く。」12 弟子た

ちは、「主よ、眠っているのであれば、助かるでし

よう」と言った。13 イエスはラザロの死について

話されたのだが、弟子たちは、ただ眠りについて

話されたものと思ったのである。14 そこでイエス

は、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。

15 わたしがその場に居合わせなかったのは、あな

たがたにとってよかった。あなたがたが信じるようになるためである。さあ、彼のところへ行こう。」
 16 すると、ディディモと呼ばれるトマスが、仲間
 の弟子たちに、「わたしも行って、一緒に死のうで
 はないか」と言った。

た。「わたしは復活であり、命である。わたしを
 信じる者は、死んでも生きる。26 生きていてわた
 しを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。
 このことを信じるか。」27 マルタは言った。「はい、
 主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシ

17 きて、イエスが行って御覧になると、ラザロは
 墓に葬られて既に四日もたっていた。18 ベタニ
 アはエルサレムに近く、十五スタディオンほどの
 ところにあった。19 マルタとマリアのところには、
 多くのユダヤ人が、兄弟ラザロのことで慰めに
 来ていた。20 マルタは、イエスが来られたと聞い
 て、迎えに行ったが、マリアは家の中に座ってい
 た。21 マルタはイエスに言った。「主よ、もしこ
 こにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死な
 なかったでしょうに。22 しかし、あなたが神にお
 願いになることは何でも神はかなえてくださると、
 わたしは今でも承知しています。」23 イエスが、
 「あなたの兄弟は復活する」と言われると、24
 マルタは、「終わりの日の復活の時に復活すること
 は存じております」と言った。25 イエスは言われ

アであるとわたしは信じております。」28 マルタ
 は、こう言うてから、家に帰って姉妹のマリアを
 呼び、「先生がいらして、あなたをお呼びです」と
 耳打ちした。29 マリアはこれを聞くと、すぐに立
 ち上がり、イエスのもとに行った。30 イエスはま
 だ村に入らず、マルタが出迎えた場所におられた。
 31 家の中でマリアと一緒にいて、慰めていたユ
 ダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行く
 のを見て、墓に泣きに行くのだろうと思い、後を
 追った。32 マリアはイエスのおられる所に来て、
 ここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死
 になかったでしょうに」と言った。33 イエスは、
 彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いてい
 るのを見て、心に憤りを覚え、興奮して、34

言われた。「どこに葬ったのか。」彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。35 イエスは涙を流された。36 ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。37 しかし、中には、「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようににはできなかったのか」と言う者もいた。38 イエスは、再び心に憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、石でふさがれていた。39 イエスが、「その石を取りのけなさい」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「主よ、四日もたっていますから、もうにおいます」と言った。40 イエスは、「もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか」と言われた。41 人々が石を取りのけると、イエスは天を仰いで言われた。「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。42 わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしをお遣わしになったことを、彼らに信じさせるため

す。43 こう言ってから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。44 すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「ほどいてやって、行かせなさい」と言われた。

遣わしになったことを、彼らに信じさせるため

2023年3月26日

信徒作成

詩編 第130編 1節-7節 祈禱書 895頁

皆様は太字の節を唱えてください。 **|| 後の言葉は、一呼吸おいてからよみましょう。**

1. 主よ、深い淵からあなたに叫び || 嘆き祈るわたしの声を聞いてください

2. 主よ、あなたが目を留められるなら || 主よ、だれがあなたの前に立ちえよう

3. しかし、あなたの赦しのために || 人はあなたを恐れかしこむ

4. わたしは主を待ち望む、わたしの魂は待ち望む || わたしはみ言葉に寄り頼む

5. 夜回りが暁を待ち望むにもまして || わたしの魂は主を待ち望む

6. イスラエルよ、主に寄り頼め || 主は豊かな贖いに満ち、慈しみ深い

7. 神はすべての罪から || イスラエルを救われる